BUDŌ

今月のニュー

第39回皇后盃全日本女子柔道選手権大会



初優勝を果たした瀨川麻優選手(右)と夫の勇気氏。勇気氏の支えが力になったと2人で喜びを分かち合った

第 39 回

皇后盃全日本女子柔道選手権大会



皇后盃を手にして喜びの笑みを浮かべる瀨川選手



会場の横浜武道館外観

一学、会には推薦選手と全国10地区の今大会は推薦選手と全国10地区の今大会は推薦選手と全国10地区の分戦となり、終始瀬川が攻め続けの対戦となり、終始瀬川が攻め続けて児玉が反則負けとなった。決勝は瀬川麻優(東京・ALSOK)と前回大会で準優勝の児玉ひかると前回大会で準優勝の児玉ひかると前回大会で準優勝の児玉ひかると前回大会で準優勝の児玉ひかるの対戦となり、終始瀬川が攻め続ける。

今大会から試合ルールが変更され、旗判定が復活した。試合時間5 分(決勝8分)で行われ、時間内に分(決勝8分)で行われ、時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行わずに旗判定で勝者を決す。また、 反則負けとなる指導の数は3から4 に変更された。

県横浜市)で開催された。 会が4月21日、横浜武道館(神奈川める第39回全日本女子柔道選手権大める第3回全日本女子柔道選手権大

2024. 6 月刊「武道|

準々決勝①

梅津志悠 ○谷落 長谷川瑞紀(九州・JR) (2分 43 秒) (東京・JR 東日本)

2回戦で前回王者の梅木真美(推薦・ALSOK)に勝利した梅津と長谷川の顔合わせ。試合は、梅津が谷落で長谷川に一本勝ち。第31回大会以来の準決勝進出を果たした。



谷落で一本勝ちをおさめた梅津 (奥)

準々決勝②

瀬川麻優 ○小内刈 + 横四方固 椋木美希 (東京·AL5OK) (4分 22 秒) (中国・環本平洋大学)

前回ベスト8の瀨川と環太平洋大3年生の椋木の対戦。残り時間1分を切ったところで、瀨川が椋木の体勢を崩し、小内刈で技ありを奪うと、そのまま横四方固を決めて合わせ技一本で勝利。梅津との準決勝に駒を進めた。



小内刈で技ありを奪う瀬川 (奥)

準々決勝③

前回大会で準優勝の児玉と伊藤の対戦。 試合は児玉が攻めの柔道を展開。一方の伊藤はなかなか攻める機会をつくれずに苦戦 していた。試合開始1分30秒、児玉が内股で有効を取ると、そのまま抑え込みに入り崩袈裟固で一本勝ち。



崩袈裟固を決める児玉(上)

準々決勝④

to (東京・東海大学) t 計 前回大会^{*}

池田 紅

○旗判定 (2-1) **米川明穂** (関東・コマツ)

前回大会で初出場ながら3位入賞を果たした池田と米川の対戦。試合はお互いに技は仕掛けるものの、決め手に欠き、こう着状態が続く。両者思うように攻めきれないまま、試合は終了。旗判定の結界、2-1で池田が辛勝した。



月刊「武道」 2024. 6

準決勝①

○旗判定 潮川麻優 梅津志悠 (東京·ALSOK) (九州·JR) (3-0)

瀬川と梅津の顔合わせ。組手争いで瀬川 が梅津の動きを封じる。試合時間49秒、 消極的な梅津に指導1が入る。梅津はなか なか攻められず、2分40秒、梅津に再び 指導が与えられる。残り時間7秒で場外に 出た瀨川に指導1となり、試合終了。旗判 定の結果、瀨川が初の決勝に進出した。



攻めの姿勢をみせる瀬川(上)

準決勝②

児玉ひかる (推薦・SBC 湘南 美容クリニック)

○旗判定 (3-0)

池田紅 (東京·東海大学)

東海大学の先輩と後輩にあたる両者の対 戦。試合序盤から両者が内股を仕掛け、攻 めの姿勢を見せる。組手争いでは体格で勝 る児玉が優位に立ち、試合を通して積極的 に技を仕掛けていった。両者ポイントを取 れないまま試合は終了。旗判定で児玉が勝 利し、2大会連続の決勝へ勝ち上がった。

ね除けて初戦を突破するも、 田は初戦で敗退。柴田は体格

柴田は体格差をは

次戦

の2名。

渕 理

東京



果敢に技を仕掛ける児玉(左)

ぐに切られてしま てるような稽古を積んでいきたい に稽古して、 ことを出したかったです。 れましたが、 初戦では、 まずは自分の 投げて逆転勝ちできてよか もう少し自分が練習してきた 最初にポイン その先に皇后盃でも 攻める気持ちで前に出 階級で勝てるよう 1, 悔 組手 かっ は たで をす つ 取

たいです。 れ 合は なかったので、 勝ちたい 自分の階級でもト

目指して頑張ります」

》柴田理帆選手

ができて楽しかったです。 ◎渕田萌生選手 普段できない階級上の選手と試 あと一歩のところで技が決 と思っ 次に活かし T 絶対に 15 て まし 15 め た

敗退となった。 コメント

■無差別に挑んだ軽量級 の選手た 前はな

大会最軽量は、

57

kg

0

渕

畄

自衛隊体育学校) · J R 東日本)

لح

柴田

2024. 6 月刊「武道|

日本武道館の単行本

大人も子どもも読んで読んで楽しく、 ためになる武道教養マンガ。 ア パ 別府大学教授 漫画家・別府大学教授

著

吉村和郎、山内直人の5氏を掲載柔道は、大澤慶己、長谷川博之、

マンガ・武道のすすめ BRUARS3



· 236頁

B 5 判

腹巻宏

お問い合わせ・ご注文は 日本武道館出版広報課まで TEL 03-3216-5147

決勝

瀬川麻優 ○反則負け 児玉びかる (東京·ALSOK) (4分 46 秒) 美容クリニック)

初の決勝進出を果たした瀨川と、2大会連続の決勝に臨む児玉の初優勝を懸けた対戦。試合時間1分6秒、組み合わない両者に指導1。瀨川は児玉の奥襟をつかみ、果敢に技を仕掛けていく。一方の児玉は組手争いに苦戦。試合時間3分までに三つの児玉は組手導が与えられる。試合時間3分24秒、児玉が前に出たところを瀨川が払巻込を決め、技ありを奪う。一方、後がない児玉でありたが攻めに転じられず、試合時間4分46秒、児玉に偽装的な攻撃で四つ目の指導が与えられ、試合終了。瀨川が悲願の初優勝に輝いた。



払巻込で瀨川(手前)が技ありを獲得する



組手争いで盤石の強さをみせる瀨川(右)

パートナーの支えを力に

●優勝=瀨川麻優 五段(ALSOK)



▽**優勝した今の気持ちはいかがですか**「すごく嬉しいです。今までベスト
8がずっと続いていたので、今年こ
そは優勝したいと思っていたのでそ
れが叶ってよかったです」

の感謝が溢れていましたが、勇

▽決勝はどのような気持ちで臨みま

道をしました」
「監督、旦那さんも含め、ここはチャンスだと思っていたので、あと一っ勝てば優勝だということ、8分間の勝ちだと思い、前に出て攻める柔の勝ちだと思いていたので、あと一っなができる。

「対戦相手の児玉選手が得意とするり返っていかがでしたが▽決勝で技ありを取った払巻込を振

技ですが、ここで仕掛けて決めてや

いきますか▽この優勝を今後どのように繋げてるという気持ちでした」

▽優勝インタビューでは夫の勇気さんに繋げていければと思っています」に繋げていければと思っています」に繋がていければと思っています」

気さんの存在は大きかったですか 気さんの存在は大きかったですか 「私生活から柔道まで支えてくれま した。選抜が終わってすごくネガテ くで励ましてくれたことが力になり ました。1位がなかなか取れていな かった中で、今回皇后盃で優勝でき てよかったです」

の活躍も視野に入れてますか皇后盃を制して、今後世界大会で

ていきたいです」 ると思っているので、今後も目指し 「今27歳で、まだまだチャンスがあ

○準優勝=児玉ひかる(SBC湘南

「自分から前に出られなかったのが「自分から前に出られなかったのが 「自分から前に出られなかったのが 「自分から前に出られなかったのが 「自分から前に出られなかったのが、 「自分から前に出られなかったのが、 「自分から前に出られなかったのが、 「自分から前に出られなかったのが 「自分から前に出られなかったのが 「自分から前に出られなかったのが

「素直に嬉しいです。体重差もあり「素直に嬉しいです。体重差もあり味」の組手が苦手でしたが、自分から積極的に組みにいき、攻めることができたのはよかったと思いまとができたのはよかったと思いまで、手堅く勝てるように稽古を積んで、手堅く勝てるように稽古を積んでいきます」

▽第3位=池田紅(東海大学)

とても悔しいです。児玉さんとは普とても悔しいです。児玉さんとは普の『重み』を意識せずに出場しる位の『重み』を意識せずに出場しる位の『重み』を意識せずに出場しる位の。

ことが本当に力になりました」 じていました。5分間何もできなかじています。家族、東海大ったと感じています。家族、東海大

 \Diamond

▽金野潤全日本強化委員長 講評

「(瀬川選手は)今日の試合は非常に技術的にも精神的にも素晴らしいに技術的にも精神的にも素晴らしい相手によって妥協しないでプレッシ相手によって妥協しないでプレッシャーをかけ続け、ミスのない試合運ゃーをかけ続け、ミスのない試合運っをしていたと思います。決勝も力のある児玉選手でしたが、組手を完全に封じて試合を支配していたと感じました。

難しさも今回で感じました」あったと思います。しかし旗判定のよる差が生まれないことで公平感はよる差が生まれないことで公平感は



第39回皇后盃全日本女子柔道選手権大会



月刊「武道」 2024. 6



68 回全 本銃剣道優勝大会

け取る で優勝杯と賞状を受 岡県選抜Cが表彰式 ▶一般の部優勝=静







(静岡) が前回大会で優勝の北海

した。

勢いそのまま初優勝を手に

女子の部は、

普通科教導連隊

奈川)

を4回戦で下し連覇を阻

大会5連覇中の本間道場A

かれて優勝を争った。

般の部は、

静岡県選抜Cが

海・空自衛隊)の全4部門に分 防衛省第2部(1部以外の陸

の71チームが参加。日本原駐 果たした。 防衛省第2部は全部門で最 が2年ぶりの優勝

りの優勝を手にした。

を制し、

連隊 優勝の第1普通科連隊 普通科教導連隊 防衛省第1部は、第16普通 (長崎) 第59回大会以来9年ぶ が前回大会優勝の (静岡) (東京) や同

悲願の初優勝を果たした。 道選抜Aから勝利をもぎ取り、

月21日に日本武道館で行われ、 (主催=全日本銃剣道連盟) 般の部・女子の部・防衛省第 第80回全日本銃剣道優勝大会 が 4

1 部

(陸上自衛隊の指定部隊)・

月刊「武道| 2024. 6

屯

一般の部

限はなく、高校生以上が出場。 いあった。 チームがトーナメント方式で競い合 1チーム3人制で選手の年齢の上 計 40

決勝に進出した。 岡県選抜Cは苦戦したものの勝利 は前回大会優勝メンバーを揃え、静中の本間道場Aと対戦。本間道場A 九徳塾A(滋賀)に2―1で勝利し、 (新潟) に2―1、 準決勝は、 4回戦で静岡県選抜Cは、 千葉県選抜が元気道場 静岡県選抜Cが 5連覇

> 時間あとわずかのところで、 上胴を決めて優勝をした。 て上胴を突き1本を取り返す。残り]優勝=静岡県C・渡邊裕太監督

思っています。銃剣道をより良くす 思っています。(今後の展望として きたいと思っています るために、 して銃剣道で貢献できたらいいなと 「昔から銃剣道をやっていたんです 般の部で優勝できて非常に嬉しく 銃剣道が好きなので、一般人と 優勝することがなかったので、 一般人として協力してい

く。くり

中盤、

石岡が下胴を先取し、

開始の号令とともに、果敢に攻めて

試合終了となった。

後がない北海道A・石岡が試合

森川が小手を決めて1本勝ち。

中堅

澤が上胴を決めて1本勝ち。

声援が飛び交う中、

普教連・今 北海道

続いて上胴を決めて2本勝ち。

れない中、 先鋒戦、

試合終了間際に普教連・ 両者攻め合うが1本が取

〉決勝

渡部 静岡県C 純 千葉県 髙木奨平

清水 渡邊裕太 **下** 上上上 山本拓哉 三浦巨人

残り10秒にも下胴を決めて2本勝 試合序盤に下胴を決めた。 したが、千葉県・山本が果敢に攻め 本勝ち。中堅戦、 か、千葉県・髙木が上胴を決めて1 先鋒戦、 優勝は大将戦に委ねられた。大 静岡県C・清水が上胴を先取 激しい攻め合いが続くな 静岡県C・渡邊が 試合時間

普教連

決勝

森川有紀子

今澤美紗貴 花田莉緒

牛

音葉

臣上

石岡悠来 斎藤彩花 北海道A

心技体 人を育てる総合誌

道

月武

のどは「ノ」、小手は「コ」、肩は「カ で囲み、上胴は「上」、下胴は

先取した方の有効突き部位を○

兲

■女子の部

る43チームが出場した。 1チーム3人制で、過去最多に迫 準決勝は普通科教導連隊が愛媛県

結果、 海道の優勝決定戦となった。 道選抜Cに2―1で勝利した。この 選抜に2-1、 前回大会と同じく静岡県対北 北海道選抜Aが北海



女子の部決勝・先鋒戦=普教連・森川(右)の小手



女子の部優勝=普通科教導連隊(静岡県)

A・森は最後まで粘り強く攻めるも



防衛省第1部決勝・次鋒戦=16普連・平井(左)の上胴

ち進んだ。

福田賢二

準決勝は、

普通科連隊、



防衛省第1部優勝=第16普通科連隊(長崎県)

隊と第1空挺団 合は大将戦までもつれ、 3-2で決勝戦へと駒を 16普連は普教連に先に3 同3位の第16普通科連 1普連と1空挺との試 (千葉) 1普連が勝 が順当に勝 次鋒戦、 中前 な 高濵雄太 岩永健太 先鋒

進めた。

勝を決め、

利。

方、

各選手がやった成果が出たと思い 勢いをつくってくれましたので、 位の雪辱を果たした。 勢いそのまま5連勝し、 かったです。 っとの優勝だったのでホントに嬉 □優勝=16普連・北慎一郎監督 勢いのまま自分のやるべきことを 一度目の正直といった感じで、 先鋒の最年長の薗田 前回大会3 そ が

1チーム5人制で、 防衛省第1部

場した。

準決勝には、

61 チー

0)

普通科教導連隊、

同準優勝の第1 前回大会優勝 ・ムが出 16普連 平井良太 中前圭輔 薗田泰之 決勝 Ė 判 | 判 | 判 | 5 蚊口武丸 1普連 郷右近光里 仁尾正樹 角南志明

両試合とも16普連が勝利。 鮮やかな上胴をもう1本決めて2本 の隙を突き、上胴を決めた。 定となり、 副将戦、 が勝利を収めて優勝を決めた。 戦、 判定に持ち込まれ、 中堅戦、 16普連・平井が相手の一瞬 16普連・薗田が勝利し 両者攻め合いが続くが判 大将戦は旗判定となり、 両者一 歩も譲らな 先鋒戦の 16普連・ 続けて



が横田基地

(東京)

に5-0で勝利

決勝に駒を進めた。

4

―1で下し、旭川駐屯地

回大会3位の富士駐屯地

(静岡) (北海道)

を

準決勝は、

日本原駐屯地が前

|防衛省第2部

先鋒戦、

日本原・

植田が上胴を突

1チーム5人制で71チームが出場

防衛省第2部決勝・副将戦=日本原・徳田(右)の下胴

日本原 内藤介人 德田裕人 松延靖大 植田晋悟 上—②判 旭川 間村将行 伊藤健剛 川﨑喜一 傍島重生 稜



防衛省第2部決勝・大将戦=日本原・大庭(右)の上胴



防衛省第2部優勝=日本原駐屯地(岡山県)

(長崎)

②第1普通

科

連

(東京)

③第1空挺団

普通科教導連隊

(静岡)

直後に、 早く上胴を突き1本。松延がこの 旗判定となり3本揃って間村に上が 内藤が勢いのある下胴を決めて勝利 の突きをかわして下胴を決めた。 めてきたところを日本原・松延が素 つ 本を守り切った。中堅戦、 た。 のどを突き1本。 て先取したが、 お互いに間合いを切った後に、 次鋒戦、 日本原・内藤が旭川 旭川・ 旭川 互角の戦いは、 傍島が一歩詰 間村が的確 試合開始 川﨑 中 1

大会成績

③元気道場 (静岡) 般の部= ②千葉県選抜 (1) (新潟)、 静岡県 (千葉 選 抜 徳

防衛省第1部=①第16 海道) 女子の部=①普通科教導連 北海道選抜C (静岡) ③愛媛県選抜 ②北海道選抜 (北海道 (愛媛) 通過: A 北

海道) 防衛省第2部=①日本原 岡山) ③富士駐屯地 ②旭川駐屯地 静 駐 北 屯

庭が鋭い上胴を決めて1本勝ち るため果敢に攻めるが、 た。 利を収め、2年ぶりの優勝を決 副将戦、 の隙を突き下胴で1本を取っ 大将戦は旭川・名和が 日本原・徳田が相手 日本原・ 一矢報 0

月刊「武道」 2024. 6

横田基地